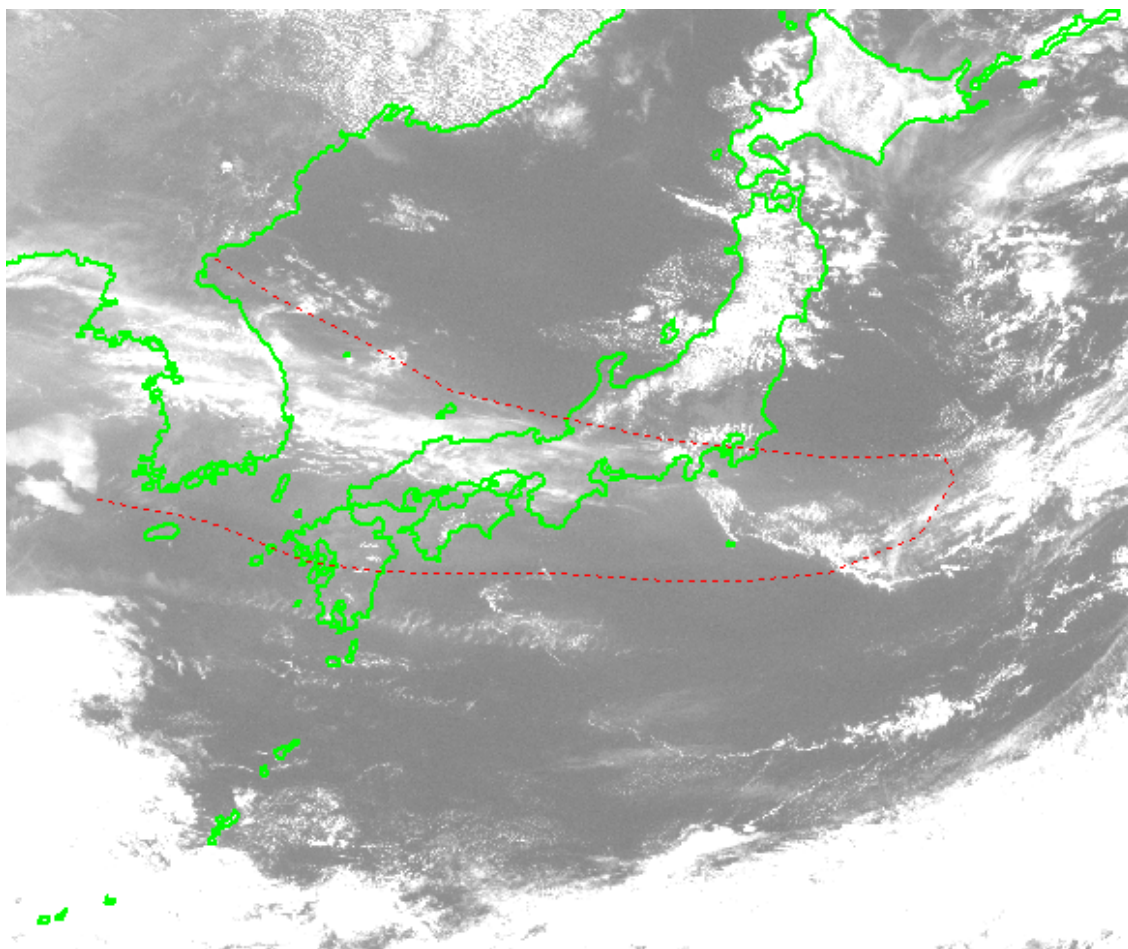


今月の気象衛星画像 (2005年4月)



2004年4月1日15時の可視画像
(現象を見やすくするため、階調は変えてあります)

春の黄砂

春ともなると中国大陸の方から、時々、黄砂が飛んで来るようになる。黄砂とは中国、朝鮮半島、日本などに、ゴビ砂漠・タクラマカン砂漠や中国大陸の黄土地帯で強風により舞い上がった砂塵が上空の偏西風によって運ばれて来て地上に降下する現象をいう。上空の気流によって日本に流されてくるので、衛星画像上に見えていても必ずしも地上で観測されているとは限らない。

黄砂を気象衛星画像で観測すると、発生当初の中国大陸付近においては可視画像上に明灰色の比較的明瞭な境界をもっているが、日本付近に到達する頃には黄砂は拡散して薄くなるため、識別が難しくなる。

写真は1日15時(日本時間)の可視画像である。写真では日本付近の黄砂を示した。点線で示した部分が黄砂であり、淡い灰色で見える。朝鮮半島から西日本、東日本、関東の東までのびているのが分かる。この時、日本では、浜田、下関、山口、福岡、熊本、福江、宇和島で黄砂を観測している。

(気象衛星センター)